



第94号

レッツスポーツ!!

Let's Sports!!

平成22年12月1日
発行
財団法人 稚内市体育協会
会長 門間 松美
〒097-0027 稚内市富士見4丁目
稚内市総合体育館内
(財)稚内市体育協会事務局
TEL28-1111/FAX28-1112
E-mail:taikyo@wakkanai-sports.or.jp
URL http://www.wakkanai-sports.or.jp



平成12年度 冬期受入の様子

◆**廃止の危機**
稚内市の理解と助成の下に平成6年から続く交流も順風満帆に進められてきたわけではありません。途中、何度も地方自治体の財政危機が叫ばれ、平成14年には



昨年の派遣団員

12月25日から4泊5日

南の島の元気な訪問者たち!!

◎平成22年度 友好都市スポーツ交流

日本の最北端と最南端に位置する都市の間柄で、共に農業、漁業、観光を基幹産業とする本市と沖縄県石垣市が、友好都市の締結をしています。

両市の職員や物産による交流をはじめ様々な交流がなされる中でも、双方のスポーツ少年団員による「友好都市スポーツ交流」は、平成6年から現在も連綿と引き継がれ、両市の絆が最も強く結ばれている事業といえるでしょう。

今号では、12月25日から29日の日程で、平成12年以来2度目の冬期受入となる、「南の島からの元気な訪問者たち」の訪問予定を紹介します。

ついに中止を余儀なくされました。通常こうした事業が一旦中止された場合、復活することは難しいものですが、双方の関係者の子ど

もたちによるスポーツ交流に対する思いと訴えが実を結び、切れかけた交流の糸が、翌平成15年から復活しています。

石垣市スポーツ交流の軌跡

年(西暦)	交流		受入及び派遣スポーツ少年団等	受入・派遣の内訳					備考
	受入	派遣		少年団	引率者	指導者	高校生リーダー	合計	
平成6年(1994)	◎		サッカー	20	4	2		26	
平成7年(1995)		◎	サッカー	20	3	3		26	
平成8年(1996)	◎		バレーボール	20	4	2		26	
平成9年(1997)		◎	多種目	15	4	2	1	22	
平成10年(1998)	◎		多種目	16	4	2	1	23	
平成11年(1999)		◎	柔道	15	3	1	2	21	
平成12年(2000)	◎		多種目	10	3			13	
平成13年(2001)		◎	剣道 バレーボール	14	4	1	2	21	
平成14年(2002)	一時中止								
平成15年(2003)		◎	軟式野球	11	3	1	1	16	
平成16年(2004)	◎		軟式野球	11	3	1	1	16	
平成17年(2005)		◎	バスケットボール バドミントン	11	2	1	1	15	
平成18年(2006)	◎		バスケットボール	11	3	1		15	
平成19年(2007)		◎	サッカー	12	2	1	1	16	
平成20年(2008)	◎		サッカー	12	3	1	1	17	
平成21年(2009)		◎	バレーボール 剣道	15	3	2	1	21	50周年
平成22年(2010)	◎		バレーボール 剣道	15	3	2	1	21	予定
合計	8	8		228	51	23	13	315	

◆2度目の冬期受入

これまで7回の受入の中で、平成12年12月に初めての試みとして冬期間に受け入れたことがあります。

この年は、あいにくの悪天候に見舞われ、滞在中に予定していた屋外プログラムが軒並み中止となり、ホームステイ家庭での個別交流をはじめ、受入団員と登校するなど、違った意味で貴重な体験をしています。

常夏の沖縄から、2回目

となる冬季の受入期間には、雪の中を転がったり、スキーやカーリングなど雪国ならではの様々なプログラムを堪能してもらう準備を進めています。

◆引き継がれる友情の絆

昨年は、体育協会創立50周年記念事業の一環として、本市からバレーボールと剣道の団員15人に引率や高校生リーダーを含め総勢21人を派遣しました。

これまでの派遣8回で158人、石垣市からの受入7回で136人が、日本の北と南のおよそ280キロメートルを越

えて、今もなお双方の団員はもとより、



ホームステイ先となったホストファミリー同士の交流が続いていることは、この事業が団員相互の友情の絆を強めると共に、心身の健全な育成に大きな役割を果たしていることを確信し、引き継いでまいります。

○日程

1日目：12月10日(金)

市内小学校、福祉施設訪問

2日目：12月11日(土)

会場：総合体育館

①少年野球教室

9時30分～12時00分

◇対象：野球少年団員

子ども会野球部員

◇内容：トレーニング、打球、打撃、守備など

②指導者クリニック

13時30分～15時30分

◇対象：少年団

子ども会

◇内容：青少年の野球指導

中学校顧問

【実技モデル：中学校野球部員

ほかトレーナー(2人)

◇講師陣：稲葉篤紀選手

開催します。

日本ハム・稲葉選手から直接指導 《稲葉篤紀Aiプロジェクト事業》

北海道日本ハムファイターズの稲葉篤紀選手が地域還元活動として行う「北海道Aiバトンリレー」で、開校50周年迎える東小学校にリレー用のバトンが贈られることとなりました。

これを機に、稲葉選手の社会貢献活動事業「稲葉篤紀Aiプロジェクト事業」の会場に本市が指定され、市内の福祉施設の訪問を始め、少年野球教室や指導者クリニックが下記のとおり開催されます。